

SDGsとファッションはどんなつながりがあるのだろうか？

サステナブルファッション新聞

北海道札幌市立
新琴似北小学校
5年3組
成田 侑奈
三木田 希香
2025年
11月発行

みなさんは「SDGs」という言葉を知っていますか？
私たちは毎日身に付けている、服（ファッション）とSDGsには関わりがあるのではないかと考えました。
SDGsとは貧困、飢餓、環境問題、不平等など、世界中の問題を解決するために立てられた17個の目標のことです。そこで私たちは「7番 エネルギー」をみんなにそして「グリーン」にファッションには深く関わりがあるのではないかと考えました。
そして調べたこと、取材したことなどを活かして新聞にまとめてみることにしました。

「サステナブルファッション」とは、衣服の生産から着用、廃棄に至るまでの全過程において、環境・社会・経済の持続可能性を追求する取り組みのこと。



引用: Loose Drawing.

豆知識

【紙ハンガーを使う理由】

紙ハンガーを使う理由は大きく分けて2つあります。

① コスト削減

紙ハンガーを使うことで商品の価格がおさえられ、地球にも優しい。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

② 海洋プラスチック問題

海に流れるゴミの量はなんと...

1億5000万トン!!

このゴミの量を少しでも削減するため紙ハンガーの使用がすすめられています。



引用 gooddo

これは東京ドーム約345個分に匹敵



引用 SDGs media

服をつくる時に使うエネルギー

服をつくる時に使うエネルギーは、水と同じくらい多いエネルギーです。実は、1着につき、500Lの水と約25kgのCO₂を排出すると言われています。これは、1着分のエネルギーで、10着分のエネルギーを使うという計算になります。これからは、同じ服をたくさん着ることも大切になります。

服1着あたり換算	水の消費量	CO ₂ 排出量
約255本製造分	約2,300L	約25.5kg
約11杯分		

引用 環境省、A1

今後出来ること

エネルギーを少しでも使わないために、今後出来ることは「スローファッション」です。みなさんはスローファッションについて知っていますか？スローファッションは、持続可能なファッションを目指す動きのことです。質の高い製品を長く愛用する考え方で、服を着てもむだに買わないだけで、たくさんエネルギーが節約できます。みなさんもむだがないよう、買い物をしてみてください!!



インタビューのアポをとっている様子

協力してくれたみなさんありがとうございました!!

＜編集後記＞

この新聞で私たちが伝えたかったことは、ファッションもSDGsにこうけんしているんです。だからファッションはただお金がかかるだけ、なくともいい人なわけじゃないです。だからこそファッションを楽しんでほしいんです。さて話がかわりますがこの新聞を作りきることができたのは、家づくりの協力はもちろん、無印良品さんや学校の先生などの協力があり作りきることができました。本当にありがとうございました!!

私たちが作りました!!

無印良品さんに

インタビューに行きました!!

私たちは8月8日、無印良品イオン札幌元町店でインタビューさせてもらいました。無印良品さんは、衣服、生活雑貨、食品などを販売しています。今回はお店で行っているサステナブルファッションの取り組みについてインタビューさせてもらいました。無印良品さんは持続可能な衣服の生産を目指するために、
① 素材選択
② 工程の点検
③ 包装の簡略化
を行い、天然素材、綿、麻、プラスチックなどを使用し、簡単な手順でタグ、袋をシンプルにし、お客さんの手にとりやすいねだんで販売しています。また、服を回収し新しい服をつくる取り組みも行っています。そしてこの取り組みを社会に広げることが今後の課題だそうです。